

# 風の塾 第2期塾生が卒業

# 卒業記念フォーラムで三年間の活動を報告



三月一六日、仙南シンケンファクトリーであぶくま農学校風の塾の卒業式が行われ第二期の塾生一六名が卒業しました。卒業式に先立ちまして塾生主催による「卒業記念フォーラム」を開催し、三年間の活動の成果を発表しました。集まった四四名の聴衆の前で塾

生一人ひとり「農産物の流通」「遺伝子組み換え農作物」「スローフード」などの三年間で学習してきたテーマごとに学習の成果を発表しました。集大成として行われた「イタリア武者修行」の報告では、「スローフードとは食を通じて人と人のコミュニケーションを大切にす文化だ。」「イタリアの生産者はスローフードを過剰に意識することなくいい物を生産することを意識している。」「などの感想が述べられました。また、「人」と「食」と「農」の関係性をテーマにパネルディスカッションも行い、ゲストパネラーの櫻井郁先生や小松光一塾長らと意見交換を行い、会場を大いに盛り上げました。

フォーラム終了後行われた卒業式では、佐藤清吉校長よりこれまでの学習に対する労いとさらなる学習に対する期待を込めたあいさつを受け、卒業証書が授与されました。塾生代表からは関係者に対する感謝の言葉と「風の塾で培った知識と経験とネットワークを生かして角田の農業発展のために活動していきたい。」という意欲的な抱負が述べられました。



あぶくま農学校では、これからも人材の育成に力を注いでいきます。第1期、第2期に続き第3期風の塾でも市内の若い農業者に学習の場を提供し、積極的に学習やネットワークづくりの活動をしていただくことによって、将来的には、あぶくま農学校の基本理念である「いのちを守る農業」の担い手として大いに活躍していただくことを期待します。

あぶくま農学校風の塾は、角田農業の次代を担う青年や熱意のある専業農家の人達の学習や人格形成に関する学習の場として、平成一三年に開設しました。三年を一期として市内の農家の若き経営者及び後継者らが参加しています。

風の塾は、塾生が意見を出し合いテーマを決め、それぞれが自主的に勉強することを基本として運営されています。学習の内容は、農業に対する基本的な考え方や農業の果す社会的な役割、流通の仕組みや経済、日本や世界の食文化についてなど幅広いものです。また、地域振興や農業振興にかかすことのできない人間関係などについても学習しています。

